

1) ヒスチジン血症のタイピングの試み

(ヒスチジン負荷試験後尿中 FIGLU、血中ウロカン酸のチェック)

久留米大小児科 山 下 文 雄
安 岡 盟
岡 田 象 二 郎

目 的： ヒスチジン血症のタイピングおよびヘテロ検索の可能性を知る目的で尿中 FIGLU (Formiminoglutamic acid) の定量 (Sigma 社キット)、血中ウロカン酸定性 (アビセル SF セルロース薄層使用) を行なった。

結 果： ①コントロール (成人1名、乳幼児2名) にくらべ患児2名 (一過性型高ヒスチジン血症、非一過性高ヒスチジン血症) は尿中 FIGLU 値は明らかに低い陽性、患者の母2名は成人コントロールの約 1/2 値濃度を示した。 ②一過性型で入院時ウロカン酸(-)が現在(+)、FIGLU も少量ながら(+)、一方非一過性でウロカン酸入院時(-)、現在(+)、尿中 FIGLU も少量ながら(+) であった。いずれにせよ今回は例数が少なく結果の解釈が困難で、今後の検討にまらたい。

2) 血液濾紙からの血液アミノ酸の迅速測定

(日立 835 型アミノ酸自動分析計による)

久留米大小児科 山 下 文 雄

1) 目的：ガスリーテスト用の血液濾紙を材料に8種類の血液アミノ酸を短時間で分析する。

2) 方法：分析条件 (表1)

3) 結果：

- (1) 5mm ディスクの枚数と血液濃度は直線相関
- (2) 溶出時間と血液濃度は2~5分で変化しなかった。
- (3) 標準溶液を用いた稀釈試験では直線相関
- (4) 回収率および精度はほぼ5%以内の誤差
- (5) ガスリーテストに用いる cut off point は検出

4) 結論：対象とした8種のアミノ酸の代謝異常症のスクリーニングならびに治療経過追跡などに充分活用できる。

血液濾紙による血液アミノ酸迅速測定 (日立 835 型による)

分 析 条 件

1. カラムシステム

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

目的: ヒスチジン血症のタイピングおよびヘテロ検索の可能性を知る目的で尿中 FIGLU(Formiminoglutamic acid)の定量(Sigma 社キット)、血中ウロカン酸定性(アビセル SF セルロース薄層使用)を行なった。